

YAMAHA-20 ONE-DESIGN







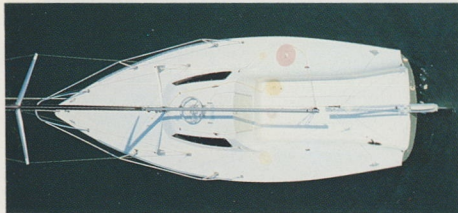
ディンギー感覚で乗りこなしてください。

ニュータイプのクルーザー

YAMAHA-20ワンデザイン

いまレースに、クルージングに。

クローズドホールドの伸びのある走り。ランニングの豪快なプレーニング。ヤマハ20ワンデザイン——。ディンギー感覚で楽しめるクルーザーの登場です。バラスト比が高く造波抵抗のすくない細身のハルはスピード性と安定性を両立。広いコックピットとフラットなデッキは高い操作性を実現。しかも船外艀装には数かずの新方式を採用。チューニングの余地を大きくとったため、帆走技術の進歩に柔軟に対応します。またキャビンは1泊2日のクルージングに十分な空間を確保しました。ヤマハ20ワンデザイン——。自分の走りのペースに合わせて、豊かなクルーザーライフが楽しめる艇です。レースに、クルージングに、さあディンギー感覚で乗りこなしてください。



●セーリング性能は敏感。セルフタッキングジブ使用時でも、微風域から中風域まであらゆる帆走で10Rルールに基づいてつくられた $\frac{1}{8}$ トン艇より高いスピード性をほこっています。しかも強風時のフリー帆走ではプレーニングにはいりやすく、とくにデッドラン付近ではスピード感の

ある豪快なプレーニングを全身で味わえます。

●ハル(艇体)は造波抵抗のすくない細身の形状。高バラスト比とあいまって、スピード性と安定性にすぐれています。しかも保針性のよい船型は従来のクルーザーに不可欠だったスケグを省くことができ、ディンギー感覚のクイックな走りを実現しました。また万一にそなえ、浮力材を内蔵。浸水しても沈没する心配がありません。

●デッキは全面をノンスキッド処理。突起物がなく、フラットな構造です。安全性を配慮してライフラインを装備。パウでの作業も安心です。

●マストは量産艇としては世界で初めてカーボン製を採用しました。重量はアルミの半分。この結果、バラストを240kgに軽減することができ、ピッチングやローリングが、きわめてすくなっています。しかもマストの起倒がラクに行えるため、橋下の通過などに便利。河川にあるマリーナなどでの保管も容易です。また65φと細いマストはアルミ製に比べ、空気抵抗を約2割もおさえ、帆走性能を向上させています。

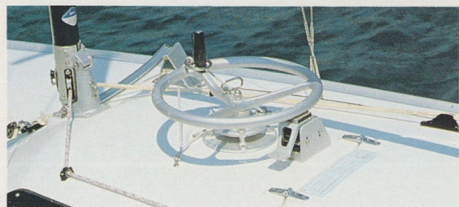
●コックピットはクルーワークを考慮して、広くシンプルな設計。船上でアフターセーリングも楽しめるよう、十分なスペースを確保しました。

中央部には2本のトウレールを設置。ディンギータイプの、使いやすいフロアレイアウトです。

●ジブ装置はセルフタッキング式。リグ(帆装)は中間リグではディンギーに近い $\frac{3}{4}$ を採用。ジブ交換をすくなくして、高い操作性を確保しました。ファミリーセーリングでの安全性も確かです。



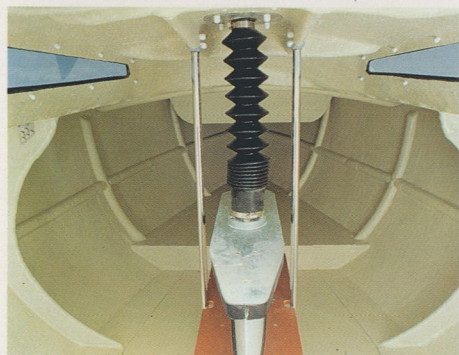
●センターボードはボールネジ使用のダガー式です。ドッグハウス上のホイールを回転させると、バラストキールが上下に動き、任意の位置にセットすることができます。この揚降装置の開発により、①センターボードの面積が自由に選択できるようになった②アップ時には全浸水面積の10%が減少し、帆走性能がグンと向上する③陸上でも保管がしやすい④浅瀬での航行が可能になった、など数かずの利点が生まれました。



●ラダーボードもダガー式です。走りに合わせて任意の位置にセットできるため、ラダーボードの面積と深さの調整が自在。不必要な摩擦抵抗を軽減でき、敏感な操舵性が得られます。



●キャビンはミニマムながら1泊2日のクルージングに十分な空間を確保。ヘッドルームも座った状態で頭がつかえない高さを配慮しました。



標準装備品

- FRP製ハルとデッキ
- ダガー式ラダー、ティラー、ティラーエクステンション1式
- ダガー式センターボード(ボールネジ使用)
- カーボン製マスト1式
- アルミ製マスト1式
- アルミ製ブーム1式
- 船外艀装
 - セルフタッキングジブ装置
 - ライフライン
 - スタンション(コックピット部分を除く)
 - スピナーカー装置(マスト艀装のみ)
 - メインシート1式
- キャビン1式
- 手動ビルジポンプ

オプション類は船内・船外ともかず多く用意しました。帆走技術の向上や変化に合わせて自由に調整してください。レーサーとしてクルーザーとして自分なりの走りが楽しめます。

オプション装備品

- 船外艀装品
 - ライフライン、スタンション(全周)
(注)フットバンド(ハイキングストラップ)を使用しない場合は必ず装備してください。
 - スピナー装置1式(マスト艀装以外)
 - ブームバング、ゼノアジブ装置1式
 - メインシートトラベラー
(注)ブライダル方式のメインシートシステムを使用する場合は不用です。
 - ハリヤードウィンチ
 - フットバンド(ハイキングストラップ)
(注)ライフライン、スタンション(全周)をつけない場合は必ず装備してください。
 - バックステーションナー、マストレスト
- 船内艀装
 - テーブル、キャビンクッション
 - 携帯式トイレ
 - ウォータータンク(ポリタンク)
(注)コンロは携帯式をご使用ください。
- 電装
 - バッテリー及び航海灯1式
- セイル
 - クルージング用メインセイル
 - クルージング用セルフタッキングジブ
 - クルージング用スピナーカー
 - レース用メインセイル
 - レース用セルフタッキングジブ
 - レース用スピナーカー
 - ゼノアジブ(注)クラスレースには使用できません。
 - ストームジブ
(注)クラスレースに出場される場合、計測を受けることにより、任意のセイルが使用できます。ただしゼノアジブは使用できません。
- その他
 - ウィンチハンドル、ボートフック



「ワンデザイン・オフショア」クルーザーレースの新しい方向です。

ヨットでレースを行う場合、ディングーではワンデザイン(同一艇)のスクラッチで行うのが通例です。クルーザーではIORIIIなど、ある一定のルールによって、異なる艇種の間でハンディキャップを定め、ハンディキャップレースを行うのが通例です。ハンディキャップレースのルールとしてのIORIIIは、たいへんよくできており、現在考えられる、もっとも公平なルールとして国際的に認められています。しかし基本的にヨットは道具を使用するスポーツであり、道具の占める割合はどうぞん高くなっています。レースに勝つためには規定の範囲内で、より速い新艇を、より新しい艀装品を求めるようになり、高くつくレースとして、世界的に問題となってきました。そこで誕生したのが「ワンデザイン・クラス」。正式にはワンデザインオフショアと呼ばれるものです。現在のIORなどのルールにとらわれないワンデザイン(同一艇)によってレースを行い、着順により勝負を決めようというものです。いちど艇を購入すれば、消耗のはげしい艀装品の交換だけで長年にわたり使用することができます。クルーザーの新しい方向＝ワンデザインクラスがクルーザーのひとつのジャンルとして、注目を集めることでしょう。

ヤマハ20ワンデザイン協会

オーナーのためのサークルです。会員になると各種のレースや楽しい催し物に参加することができます。また会報や情報誌の発行など数かずの特典も用意しました。レース派もクルージング派も、ヤマハ20ワンデザイン協会で、活発にクルーザーライフを始めてください。

